

## アンチエイジング最前線

# 「NMN・幹細胞培養上清療法の今」

セミナーコーディネーター

点滴療法研究会マスターズクラブ会長

柳澤 厚生

**時間** 10:00～17:00 (受付開始9:30)

### プログラム

## NMN

**Lecture1** 10:00～11:00

ミライラボバイオサイエンス株式会社 外部取締役

平松 隆司

### NMNの基礎と作用機序

NMNは、もともとヒトや生物の体内で自然に作られている物質で、老化現象を遅らせるだけでなく、糖尿病、アルツハイマー、心不全、腎不全等にも効果があると期待される。本講演では、NMNの基礎と作用機序を研究結果をもとに解説する。

**Lecture2** 11:20～12:20

JAAS 日本アンチエイジング外科学会 学術顧問  
医療法人社団東京 MIT 理事長 医学博士

宇野 克明

### 新たなステージに入った「若返り医療」 ゲノム・エピゲノム系の“若化(じゃっか)”対策 —GHRP-2/NMNを中心に—

従来、若返り対策には「アンチエイジング(抗加齢)」・「アンチオキシダント(抗酸化)」といった対策・工夫が中心となって執り行われてきた。しかしながら、その後の分子細胞生物学・遺伝学等々の研究進歩/応用は、新たに「ゲノム系」「エピゲノム系」という若返り“若化(じゃっか)”対策の誕生につながった。本講演では“Clinical Research and Feedback”を念頭に置き、その新たな若化対策・治療について解説する。

### ランチョンセミナー

## 幹細胞培養上清療法

**Lecture3** 13:10～14:10

N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長

野村 紘史

### 培養上清療法の機序、臨床、評価

幹細胞培養上清は昨今その臨床応用が非常に注目されている。元々は再生医療への注目とともに化粧品マーケットがいち早く目をつけた訳だが、パラクライン効果の解明など再生医療研究の進展とともに臨床応用が進んだいわば「瓢箪から駒」の素材である。本講演では現在考えられている培養上清の効果機序と、関連するレギュレーションにも簡単に触れる。次に症例を供覧し培養上清療法の発展性と課題を共有する。最後に培養上清自体をどのように評価していくかについて議論したい。

**Lecture4** 14:30～15:00

銀座予防医療クリニック 院長

一般社団法人国際予防医療協会代表理事 医学博士

青木 竜弥

### 今すぐできる幹細胞培養上清点滴療法

臨床現場で実際に行っている治療法について解説する。作成法、投与方法、注意点、副作用など実践に即してお話するのですぐに使える内容である。応用編としてクリニックで実際に行っている事例も紹介する。

**Lecture5** 15:00～15:30

医療法人隆聖会 理事長

吉見 洋志

### 幹細胞上清入門

幹細胞治療は、昨年東京オリンピックの池江璃花子選手の活躍でさらに世の中に知られることになった。しかし、細胞移植は患者にとっても開業医にとってもハードルが高いのが現状である。そんな中、幹細胞上清が注目され、幹細胞治療は細胞移植から上清へとシフトされつつある。現在、医療のあらゆる分野で細胞上清が用いられ成果を上げている。今回それらの情報を先生方と共有し、当院での上清への取り組みもご紹介することで、幹細胞上清の可能性を感じていただき、まだ幹細胞上清治療を導入されていない先生方の導入のきっかけを作れたら幸いである。

## クリニック経営

**Lecture6** 15:50～16:50

株式会社薬事法ドットコム 社主

M&M 法律事務所 最高顧問・医療グループ JTA 理事長

林田 学

### NMN、上清液、セカンドラインを構築して年商1億!

NMNについてはパイオニア社のコンサルを行い、幹細胞上清液についてはIPOを目指すT社とも連携。共に今後伸びる可能性のある治療アイテムだが、クリニックとしてはNMNのサプリやコスメ、上清液のコスメの物販ラインを構築すると治療以外のセカンドラインが可能。NMNのサプリについて東京TMクリニックで不労所得モデルとして実践。この背景には、とてもディープな法的理論武装がある。その法律上のノウハウについて私の薫陶を受けた1医師はNMN入りシートで見事実践、現在年商1億に向かっていく。本講演では、このような実践的ノウハウを提供する。